

No17

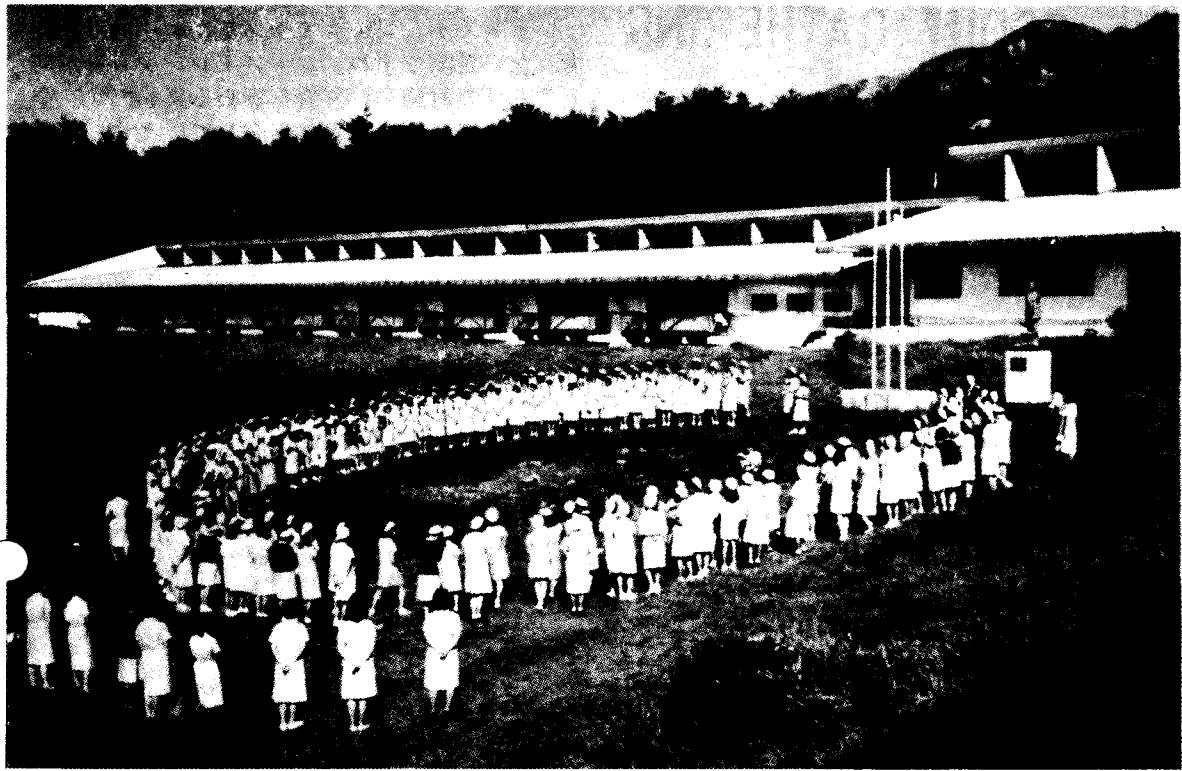
S・61・9・30

# 支那より



---

社団法人 ガール・スカウト日本連盟  
山梨県支部



---

S・61年8月1日～3日—ギャザリング第二会場タベの集い—

訓練はどこでも必要である。若いときには小さい事から実行することを学ぼう。そうすれば将来困難や、危険に遭遇っても対処できるようになるであろう。

—B・Pのことば

## ギャザリングを終って

支部長 箭本 翠

ギャザリングの当番県を引き受けた時、正直しんどいなと思いました。

200人の宿泊、会場の決定、交通、生活、どれをとっても難問題です。しかし何時かはやらねばならぬ事だからと、支部をあげて取り組みました。ギャザリングのために各団のキャンプ日程等も随分苦しかったと思います。

ギャザリングは、日連行事ですから当番支部は、あくまでお勝手方に徹し、よりよいギャザリングが出来る様に努力しました。

おかげ様で運営面では上手く行ったのですが、かんじんのグループディスカッションが、低调で考えさせられました。しかし全体会は、少しの乱れがあったものの、盛り上り、一つの結論が得られた事は、収穫だったと思います。

今ギャザリングを終って、大きな勉強をしたと思います。今後のスカウティングの在り方についても反省する事がありました。これをステップとして、明日に向って進みたいと思います。関連されたリーダー達、そして一生懸命がんばったレンジャー、シニアに感謝します。

### 青年会議 1986 GIRL SCOUT GATHERING

主催社ガールスカウト日本連盟第2会場



- 高力寿美子会長 -

ギャザリングって何だろう?と思っている方はいませんか、ジュニアやプラウニーには、耳慣れない言葉ですね。シニア・レンジャーが同一テーマで討論し、友情を深める集いです。全国を四会場に別けて毎年実施しています。今年は「参加・開発・平和」について話し合いました。参加県は、富山・福井・石川・岐阜・三重・愛知・静岡・千葉・神奈川・山梨の10県220名のスカウトが本県を会場に集い、日本連盟より高力会長も御出席され、すばらしい講演を聞かせていただき八ヶ岳の大自然の下で友情を深め合いました。



- グループセッションと全体会風景 -

皆ニコニコ、楽しそうに写っていますが、実際はどうだったでしょう。10グループに別けられたセッションでしたが、全体的に意見があまり出ず、不活発なセッションでした。今のスカウト達は、意見をはっきり言うのが苦手、集会を活発にしていない為、実践を通して意見が出なかったことなどリーダーから反省が出されました。又テーマもスカウトには少し難しかったのではないかという意見もあり、リーダー側もギャザリングの持ち方について再検討の必要もあるという意見も出たりしましたが、参加したスカウトが人前で意見をしっかり言う難しさを体験してくれ、他の場でその経験を生かしていただけたらすばらしいと願っています。



YOU・遊・TIMEはスカウト自主企画のプログラム踊って、歌って、ハッスルしました。スタッフの苦労の介あって高原野菜いっぱいのおやつも大好評、山梨のスカウト手作りの軍配で「よっっちゃばれ踊り」もムードを盛り上げまし



閉会式後の友情の輪、楽しい三日間でした。ちょっぴりさみしくなって、別れたくないなあーなんて思い、オセンチにもなりました。全体会で決議されたスカウトの日の実施計画を胸に何かやろう、頑張ろう、こんなにすばらしい仲間がいるんだものと心新にした瞬間でした。

## 決意も新たに

山梨県第4団R r 茅野香苗

去る8月2～3日、八ヶ岳少年自然の家でGS日本連盟主催のGSギャザリングが近県十県の参加により開催されました。テーマ「参加・開発・平和」について活発な意見が交換されました。前日のグループセッションで討議された事を聞き、その意見の中から「全国的にGSの日を決め、一勢に何かをやってはどうか？」という提案があり、次のことが決定されました。まず、第二会場のスカウト達が、積極的に活動し全国に定着させる。期間は1カ月で年に2回。活動内容は各団ごとに決め、支部に報告する。

山梨県では各団で活動する前に今年開かれる国体においてゴミ拾いや役員などへの奉仕だけでなく、観客や身障者またドライバーなどに、シニア、レンジャーとして何ができるか話し合い、GS月間の足がためとしていこう。次に団ごとの活動では、ギャザリングの活動に合った新しい内容のものを決定したり、また今迄の活動を継続し、2月のシンキングデー迄に支部に報告する。

団から支部へ支部から全国規模に広げることが出来、来年のギャザリングには是非好結果を発表出来るよう、スカウト一人一人が参加し頑張りたいと思います。

## 団紹介

(今号は5団を紹介します。太陽の集いに参加した集会の様子をお知らせします。)

7月20日、スカウト20名、リーダー3名で太陽の集いに参加した。一般の参加者が少なく、スカウトの参加で活気付き参加してよかったとよろこんだ。ゲーム中必ず一度は車椅子に乗ったり押したりしなければならないのでスカウトのほとんどが初めての経験であった。まっすぐに進んでいるつもりなのに斜めに道からはずれそうになったり、砂利道の所は空回りして進まなかったり、段差のある所はバックで引いたりしないとならない。また自分で乗って動かすと上手に進まず「後の方から前へ大きく回すといいですよ」車椅子のA君に教えてもらったり、両手を同じ様に回している積りでも効手の反対の方へ方へと曲がってしまったり、方向を変える時は片方の手だけ動かすと、逆に障害者からアドバイスを受けたりしながら約一時間のレースが終わった。この経験が身スポーツ大会の手伝いに役立てる事が出来たらと、心はずませ今日のふれ合いの思い出を胸一杯に帰路についた。

## — 5 団 —



# ☆☆☆委員会だより☆☆☆

## 指導者養成委員会

去る7月12日～13日の1泊2日、愛宕山少年自然の家で第1回リーダー研修会が行なわれました。受講者は、21名で「単元N野外を生かす……基礎コース」と「単元IIIプログラムづくり」の計10時間を終了致しました。

日本連盟から示されたガールスカウトキャンプの基準を中心にキャンプの目的やキャンプの技術、プログラムの部門別の段階や強調点など多くを学び確認し合いました。

第2回リーダー研修会は11月に行なわれる予定です。1人でも多くのリーダーの受講をお待ちしています。



## 国際委員会

### 61年度海外派遣参加者紹介

◎タマキャンプ 1団 和田 薫  
10団 梶本はゆる  
1986 アートオデッセイ（アメリカ）  
2団 光山亜希子

## キャンプ委員会

### ◎全国キャンプ参加者紹介

レンジャーキャンプ 2団 遠藤 明美  
2団 竹中 結  
リーダーキャンプ 1団 三浦 美枝  
5団 中山 歌江

## 組織委員会

アダルト研修会が、6月26日山梨県立考古学博物館にて実施されました。県下のアダルト・団委員・リーダーが40名ほど参加し、館

長の磯貝先生より山梨県の先祖の生活をお話しいただき、参加者それぞれ熱心に興味深く聞かせていただきました。又先生のご好意で館内を見学させていただき、土器の再現の大変さも見せていただき、婦人ボランティアの活躍の様子も真の当たりにし感銘深い研修となりました。

## プログラム委員会

プラウニーラリーが、11月9日(日)、訪諱の森公園(富士吉田市)で開催されます。県下のプラウニーの参加を心より待っています。イドゲームやお祭り広場を企画し、たのしいラリーにしようと委員一同頭をひねってますので期待していて下さい。

## ☆編集後記☆

キャンプも終り、一息ついたら、もう秋、国体・国体と、何となく気忙しくなってきましたが、No.17をお届けできる運びとなりました。今年度の広報委員を紹介させていただきます。

小池すみ子一何でも経験してみようの精神であたります。

天野十九代一すてきな原稿・写真待ってます。  
磯珠江一いろいろな事を解りやすく楽しくお知らせできたらと思ってます。

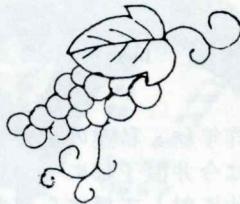
津島みさ子一各団の活躍ぶりどしどしお知らせ下さい。

大塚慶子一さまざまな出来事をお伝へ出来るよう頑張ります。

篠原富美一日夜、清書に励む毎日です。  
佐藤秀子一いい原稿・いい写真は心のゆとりから。

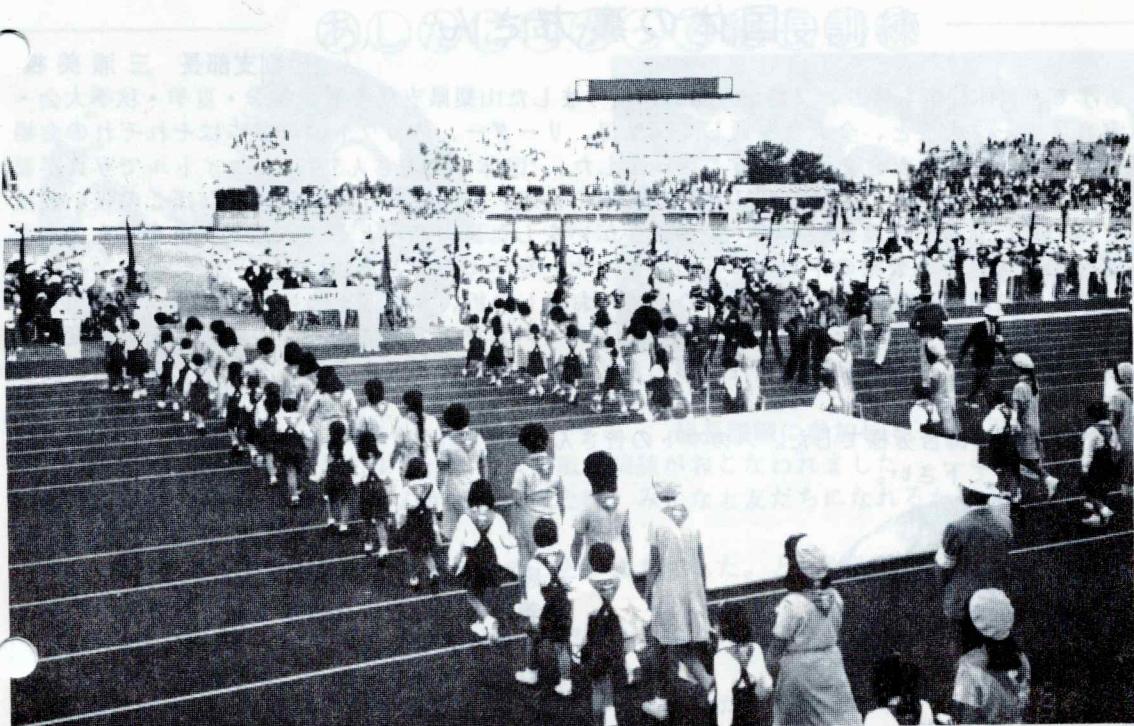
嘉村茂子一以上8人、それぞれの特技とセンスを活かしてより良い支部便りをお届け出来ますよう努めます。皆様のご意見ご感想をお待ちしております。

# 支部便り



社団法人 ガール・スカウト日本連盟

山梨県支部



S. 61年10月26日—全国身体障害者スポーツ大会—

この世を楽しい場所にしたいならいつも周りを見まわして、他の人がどんな風に考えているかを知れ。そうすれば、あなたにあなたのいい分があるように、他の人にも、他の人のいい分があることがわかるであろう。

—B・Pのことば—

# 依田喜栄姉の県政功績彰受賞をお祝いして

支部長 箭本 翠

昨年秋、私達の敬愛する依田リーダーが、県政功績彰を受賞されました。ガールスカウト県支部からは今井温子姉につづいて2人目の受賞です。それは依田姉の永い期間にわたる社会教育に関する御奉仕に対して授けられたものであります。その大半がガールスカウトに対して行われた献身であることを考え、その御苦労に感謝するとともに、私達の仲間からこの栄誉を与えられる方を出した事に対して誇りを感じます。依田リーダーは、昭和40年、山梨県におけるG S運動の振興期にリーダーとなられ、第2回を作られて以来、トレーナーとして、第二代山梨県支部長として、常に私達の先頭に立って、スカウティングの道を歩まれて来ました。私達は、依田姉の開かれた道を後代に続けるべく努力しております。

依田リーダー、いつまでもお元気で、私達をお導き下さいませ。

## 国体の裏方さん

副支部長 三浦美枝

県をあげての国体行事も終り、又静かな毎日に戻りました山梨県支部でも、冬季・夏季・秋季大会・身体障害者スポーツ大会と、全大会を通して御父母、リーダー、スカウトの皆様にはそれぞれの会場で、ご協力ご奉仕をいただきありがとうございました。“国体の裏方さん”こんなタイトルで写真が載りました。大きなごみカゴに始終投げ込まれるごみの整理、足元に投げ捨てられるたばこの吸い殻拾いと、ごみのない気持ちの良い会場づくりのお手伝いをした裏方さんとして、スカウト自身も大変な中にも奉仕の大切さや、公衆の中でのいろいろなマナーを学んだことと思います。

皇太子殿下、妃殿下が勤労青年センターの会場へお越しの折、お出迎えの列の中に、支部長が着ていたガール・スカウトの制服を見つけられて「ガール・スカウトでございますか、御奉仕お大変ね」と声をかけて下さいました。目に見えない影の奉仕にパッと、スポットライトをあびた様な心はずむお言葉でした。

会員の皆様本当に御苦労様でした。スカウトの皆さんは“良い市民”的バッチやエイドにつながる様、レポートも頑張って下さい。



2回 レンジャー 遠藤明美

感動の渦の中、幕を閉じた身スポ大会ですが、意義のあるこの大会に参加し、お手伝いできたことをうれしく思います。身体障害者という葉を忘れさせる皆さんの笑顔が、とても印象的でした。

私達ガール・スカウトは、清掃奉仕の他に、閉会式に参加しました。選手の皆さんに贈り物を渡し、温かな言葉と固い握手を交しました。車椅子の方、目の不自由な方など障害は様々ですが、一生懸命な姿は共通して感じられました。退場する選手の皆さんと握手をし、言葉を交していると、涙がとまりませんでした。ただ感動するばかりでした。生きる希望と勇気を学んだうな気がします。

このような機会を通じ、障害者の方々をもっと身近に感じることが、大切だと思います。今後、もっとふれあいの輪を広げ、温かな街づくりができたなら、素晴らしいと思います。

## 一日スカウトデーを終えて



「一日スカウト」全国キャンペーンご苦労さまでした。各団思い思いの楽しい企画で行なわれました。  
参加人数 会員少女 成人 約500名 一般少女 成人 約290名

各団からの報告により団により多少異なりますが、大変盛会であったとかがわれ、その成果の程が期待されます。青少年の親には非常に感心が強かったとか、一日だけの行事ではPRが不充分なので、もっと町の行事に参加するよう心がけたい等、ご意見がありました。

どうぞこれからもスカウト活動を通して地域でのPRに一そうつとめて頂きたいと思います。

## あしたに向かって組長訓練



「さあ今度は、  
私達がパトロールリーダー」

「ソング覚えるのも真剣」

組長訓練に参加して

15団 古屋 成子

1月17日、18日にあたご山少年自然の家で組長訓練がおこなわれました。

私は、少年自然の家の正面げんかんに入った時、みんなと友だちになれるかな、みんなの後についてけるかな、と心配でした。

歴史の勉強やきりつ訓練などたくさんのことがありました。どれもみんな、ためになることばかりでした。

私が一番心に残ったことは、ワイドゲームです。みんなで助け合い、とてもいいゲームになってよかったです。

このことを毎日の生活にやく立て、いいスカウトになりたいと思います。

## 燃えました シニアレンジャーの集い



海外派遣体験発表、うらやましげに発表に聞き入りました。又「ふれあいの日」実施に向けてレンジャーが真剣に取り組んでくれたり、次の日はユニセフの映画に感銘を受けながら、よい市民・規律訓練員・自然環境保護員にチャレンジしました。県内のスカウトと友情の輪を広げながら有意義な集いが実施できました。

# ブラウニーラリー

主催 社団法人カールスカウト日本連盟山梨中支部



「集会で一生懸命覚えたロープ結び簡単にできてしまったわ。」



「富士山の麓ってとっても寒かった、でもオーストラリアから来たお姉さんと手をつないだら暖かくなったわ。」

## 一たのしかったブラウニーラリー

(S・61・11・9)



「広い芝生で風車とばしたの、楽しかったわよ。」



「ゲーム屋さん、当たりくじ屋さん、おでん屋さん、ポップコーン屋さんいろいろな店があって迷っちゃったけどおみやげも買ったし、おやつも食べたしとっても満足。」

### 団紹介

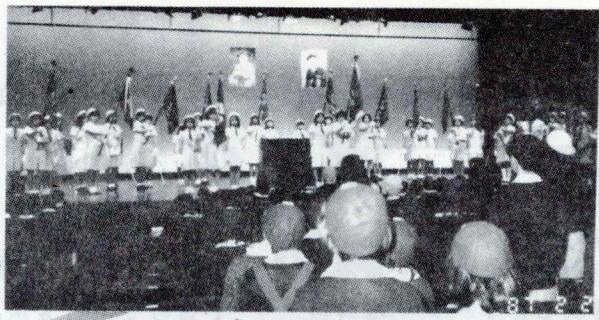
### 第4団

毎年ボーイスカウト甲府第10団との交歓会を行っております。今年度は、5月にボーイスカウトよりご招待を受け、武田の社でのオリエンテイリングと草もち作りで楽しい一日を過しました。そのお返しとして、1月25日北公民館に於いて新年会茶会とゲーム、オリンピック大会を開催いたしました。

出席者は両団合せ130名、丸山宗青先生とその社中の方々に「奉仕の精神」でご協力をいただき、大ホールに立派な立礼の茶席を作っていただきました。初めての企画でしたが、丸山先生の親切なご指導をいただき、厳粛なうちに一服のお茶を味わうことが出来ました。

500余年の歴史をもつ茶道の心を知り悟ることは難しい事ですが、なにやらその心に触れる事が出来たような茶会でした。午後は父母会の方々の手作りのカレーライスで元気をつけた後、室内でのゲーム、オリンピック大会が行われました。ブラウニーからボーイまでの混成で各パトロールに分かれ選手団の入場、聖火入場、選手宣誓とミニオリンピックのようでした。今までの静から動への転換で、どの競技もリーダーが知恵をしぼった珍プレーで大変楽しく交歓の輪をさらに拡げることが出来ました。年二回の行事ではありますが、スカウト活動の一つである“人との交わり”をとうしてスカウト達がお互いに励まし合い共に学習し合って、又一段と大きく成長出来るよう願っております。





旅しましたアジア



シンキングデー



おめでとう

3団20周年・13団10周年おめでとうございます。

3団は61年12月7日、富士レークホテルで、12団は62年2月15日、塩山中央公民館でそれぞれ記念式典を盛大に行ないました。10年、20年の節目は、マンネリになりがちなスカウト活動をリフレッシュさせる機会にもなり、今後益々両団の活動がすばらしいものとなっていくことだと思います。

一団のシニアスカウト古屋智子さんが、国際居住年を記念しての標語募集に応募し、このほど建設大臣賞をみごと受賞しました。入賞作品は「地球はみんなの大きな住い」です。

受賞おめでとうございます。



支部恒例のシンキングデーが実施されました。  
参加人数405人

シンキングファンド52,538円  
オーレーブハウス基金80,720円が集まりました。

今回はアジア・オセアニア地域をレンジャースカウトの迷ガイドで旅しながらそれぞれの地域のスカウト活動などを学びました。

世界地図作りや、司会の準備を学校の合い間をぬって準備して下さったレンジャースカウト本当に御苦労様でした。

# ☆☆☆委員会だより☆☆☆

## 指導者養成委員会

### リーダー講習・研修の改訂について

日本連盟では、昭和60年度よりトレーニング研究のチームを編成し、リーダーの講習・研修について検討を重ねて参りましたが、この程リーダー講習・研修に関する要領が示されいよいよ4月1日より大きく変わることになりました。新要領では、一口に言うとリーダー資格は取り易く、リーダーになってから研修は、広く細かく自主研修の実を上げるよう配慮されています。

まず認定講習については、基礎コースが現行の20時間以上が5時間に短縮され、部門コースは4部門に分かれ各部門5時間となりましたので合計10時間の講習になりました。従って二日間の開講で一部門のリーダーになれるわけです。大変受け易くなりましたので大勢の方々が受講されますよう期待しております。

次に研修会ですが、研修内容が大きく三つの単元に分かれ2時間を1単位として計34単位の研修が組み込まれています。特に今まで野外活動の研修はキャンプライセンスのみでしたが、新要領では野外活動も研修単位となり野外活動の技術・能力開発・安全対策等を含む研修においては他団体主催の研修も積極的な受講を望んでおります。又キャンプライセンス制度は廃止し全てのリーダーは野外コース（舎営と野営）を2泊3日33時間以上を受講しキャンプリーダー認定を受けることが望ましいとしています。キャンプリーダー認定を受けていないリーダーは二年間の間に資格を得るようすすめております。その人の教養的な基盤はリーダーの人間性を作り上げていくものであり、社会の一員として又家庭生活を営む家族の一員として豊かな人間性の上にスカウティングに必要な知識技術を更に自己学習しながら相互研修と向上への努力に励みましょう。

## 組織委員会

アダルト研修会が、2月10日県立婦人会館において実施されました。県下のアダルト・団委員・リーダーが40名ほど参加し、今井トレイナーより、アダルト活動とはの講義、そ

して、ユニセフ募金の意義・ガールスカウト活動の16mm映写を見、それぞれが深い感銘を受け、団に帰ってなお一層の努力をしようと心に刻み込んだ一日でした。又次回はアダルトハンドブックの学習会を計画しています。それぞれの成人会員が、ガールスカウトのことをもっと深く理解していただく為多数の参加をお待ちしています。

## プログラム委員会

### 「ふれあいの日」を成功させよう

「ふれあいの日」とは、「参加・開発・平和」について取り組んできて最終年の今年、各会場で実践してきた「役立つ活動」の提案が出され、これらの提案をもとに、今年は特に「全国のガールスカウトが一つの心になつて実践していく活動のテーマ」を考えてみよう話し合い「ふれあいの日」として下記の目的に合った活動をしようというアピールが採択されました。

### アピール

ガールスカウトとしての意識を高めるために  
ガールスカウト活動を理解してもらうために  
ガールスカウト活動を広めるために  
ガールスカウトが地域社会に役立つために

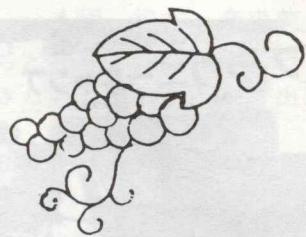
山梨県支部では「ふれあいの日」実施について、参加スカウトより説明があり、参加者で話し合った結果、積極的に「ふれあいの日」実施の方向で活動する、当面は各団の実状に合った「ふれあいの日」の活動を推進しましょう。

## 編 集 後 記

61年山梨県支部は、前半がギャザリング第二会場担当でプログラム委員さん始め皆さん大変ご苦労なさいました。

後半は“ふれあいの甲斐路国体”的お手伝いで多忙でしたが、それぞれ貴重な体験とたくさんの思い出をのこしました。まさに友情の輪、心と心の輪が大きく広がった事と思います。アマチュアカメラマンが一生懸命ねらってのシャッターでしたが使用する写真に苦慮いたしました。皆さんに楽しく読んでいただければと、広報委員一同念じております。

# 支部祭り



社団法人 ガール・スカウト日本連盟  
山梨県支部



S 62年8月18~20日—ブラウニー支部キャンプ  
八ヶ岳少年自然の家

ちっぽけな人間が成長し、広く物事を見るようになるのは、ハイキングのとき、聞いた自然の知識や物語からである。野外活動は、観察について学び、宇宙の神秘に気づく最上の学校である。

—B・Pのことば—

# はじめてのブラウニー支部キャンプ



八ヶ岳少年自然の家にて、約250名の、ブラウニースカウト、リーダーが参加して、ブラウニーキャンプが実施されました。スカウト達の楽しそうなスナップをごらん下さい。



## 草原で あそぼう



6団 おくあき ゆか

ガールスカウトになって、はじめてキャンプにさんかしました。まい日楽しいことばかりでしたが、いちばん楽しかったのは、草原であそんだことでした。

ひざよりも長い草の中で、きつねのしっぽとりをしたり、カードさがしをしました。そして「えっさかほい」では、ちがう団のお友達とくみになって、いっしょにけんめい走りました。おうえんもしました。

よい思い出になりました。またきてお友達といっしょにゲームをしたいと思います。



思いっきりのびのびと、さすがブラウニーさん



笑顔がとってもかわいいわ

## 楽しかつたぼうけんハイク

4団 松本 奈央美



スタートが、まちどうしかったです。やつと、じゅんばんがきたので、はりきって出発しました。

目じるしをたどりながら、いくつかのポイントをすぎていくと、タイヤの所につきました。空中ゆうえいです。みんな、「ワー」と言ってすべっていきます。太いロープをいっしょに引っぱって、もどってたイヤにすわります。しっかりつかまって、すごいスピードでイヤがすべっておりて行きます。つめたい風が、スーーとついてきました。はく力があって、とてもおもしろかったです。とちゅう道にまよったりしましたが、目かくしをしてわたるポイントをぬけると、やっとゴールに出ました。もう一度ちょうどせんしたいと思います。



広い草原の中でハイポーズ  
すべきでしょう。なにしろ広いし楽しいし、リーダーと思  
いきり遊びました。



草原の手ざわり、やさしかったでしょう。

しんこきゅうしたら、どんな、おいがした？



## キャンドルサービスの夜

11団 小野 知子

キャンプファイアが、雨で中止になりましたので、その日の夜は、キャンドルサービスをしました。支部長さんから、かっこう地区のパトロールリーダーが、火をもらってきてました。それをつけてもらい、スローガンを言ってさしました。その後、各団で歌やおどりをみたりやったりしました。さいごに、各団のリーダーから全員に火がともされ、くらやみの中の250本あまりの火だけがゆれ、とてもきれいでした。ブラウニーさいごのキャンプにさん加して、いいおもいでやけいけんになりました。

## 戸隠ガール・スカウトキャンプ場見学を終えて

キャンプ委員長 角井 節子

この夏のキャンプでは、大自然の美しさ神秘性に触れスカウトの皆さんは一段と心身共に成長されたことでしょう。リーダー、団委員の皆様のご活躍、ご協力に感謝致します。尚、戸隠ガール・スカウトキャンプ場見学に際しましては、各団のご協力のもとに大勢のご参加を頂きありがとうございました。

来年度、年長スカウトキャンプを戸隠で実施致したく見学会を試みたわけですが、如何でしたでしょうか？多くのスカウトの憧れの地「戸隠ガール・スカウトキャンプ場」百聞は一見に如かず……。

毎年全国より何千人ものガール・スカウトがキャンプをしにやって来ています。外国のスカウトもすばらしいキャンプ場とほめてくださいました。長野県に比較的近い山梨県支部ですが今まで戸隠キャンプ場開設以来27年になるのに、一部のスカウトとリーダー以外は一度も利用していない現在、是非一度は経験し、ガール・スカウトとしての自身を磨いて頂きたいと思います。はじめての試み、皆様の大きな力とご協力がなければ実行出来ません。一人一人の力が、ガール・スカウト会館のレンガとなった様に、真剣にスカウトの為に取り組んで来年の実行にしたいと思います。

皆様のご協力とご理解を切にお願い申し上げます。スカウトに喜びをあたえるために……。

B・P卿と記念撮影

戸隠キャンプ場にて



## 海外派遣に参 加 し て

3団 小佐野 春美

今回参加したイギリスラリー'87が、私にとって忘れ難いものとなったのは、多くの人々の暖かい心遣い、すばらしいプログラム、そして大自然の中での生活があったからだと思います。最も印象的なのは、キャンプでした。キャンプは私が今まで経験した日本の訓練的なものに対し、イギリスのキャンプは娛樂的な要素を多く取り入れたものでした。自由時間も多くもてるこのキャンプは、バラエティーに富んだプログラムでとても楽しむことが出来ました。キャンプ場には、様々な施設があり、水泳、アーチェリー、乗馬、少し離れた所ではボート、カヌーなど、たくさんのスポーツが楽しめました。

クラフトは、十種類以上用意されており、ぬいぐるみ、バッヂ、フラワーなど各々好きな物を作ることが出来ました。夜はキャンプファイヤーや、ディスコ会などで踊ったりの毎日です。これらのすばらしいプログラムが潤滑油となって、世界各国のガールガイド達との交流をスムーズにもつことが出来ました。いつも不安でいた私に、ガイド達はやさしく親切に接してくれました。そして、語学力の未熟な私の話を真剣に聞き、会話してくれました。その後のホームステイでは、ホストファミリーのローズマリーさん一家が、私を暖かく迎えてくれました。また、幸運にも私の誕生日が、ホームステイ中だったため、私のためにすてきなパーティーと、たくさんのプレゼントを用意してくれ、中でも小物入れは、とてもすばしく感謝の気持ちでいっぱいです。

今回のラリーへの参加によって、ガイドを始め、多くの人々のやさしさに触れ、人に対する思いやりのすばらしさと、大切さを再認識すると共に、今日までガールスカウト活動を続けてきて本当によかったですという満足感と、この貴重な経験を大切にし、今後のスカウト活動に生かしていくことを使命感を新たにしました。

## 楽しかったギャザリング

### 1団 和田 薫

私は8月21日から23日に行われた、全国ギャザリングに出席しました。私が行ったのは、第二会場の福井でした。私は福井へ行くのも、新幹線に乗るのも初めてでしたので、全てに興味深く、長い道のりも退屈しないで行くことができました。

福井の町は、歴史とのかかわりが深く、永平寺や、朝倉の武家屋敷のあとは、とても広く、今もまだ発掘中だそうです。

今回のギャザリングは、考えていたほどスケジュールがハードでなくて、ティータイムや、ウェルカムパーティーなど、友情を深めるようなプログラムが多く盛り込んであり、大勢の他県のスカウト連と友達になることができ、とてもよかったです。

特に、ウェルカムパーティーは、現地のテレビ局の生番組が入ったり、福井のスカウトや、リーダーの出し物があつたりして、楽しいひとときをすごすことができました。支部代表として、貴重な体験をさせていただき、とても良かったと思います。

よい旅行家のバッヂにチャレンジも兼ねて、今年の参加者は自主計画を立て、黒部・立山・アルペンルートをまわりました。

感激の立山・室堂平にて記念写真。



友情の集いにて、世界各国の民族衣装ファッションショー。



## 団紹介



## 2団・14団

集会場 ブラウニー 一蓮寺幼稚園  
ジュニア以上 南公民館

第2団は昭和39年6月発団、第14団は昭和53年10月分団以来「おきて」の第4条通り仲よく姉妹の様に今日までやって参りました。

ブラウニーも、ジュニアも集会はいつも2部屋お借りして、それぞれのプログラム通りにやっております。でも最近は中心街には子供が少なくなり、スカウト活動もそれがなやみの種です。それでここ2・3年来、料理、キャンプ、クリスマス、キャンペーン活動などは大勢の方が楽しいので一緒に致しております。

太田町公園の中ですので、藤の花盛りには、その藤棚の下で集会をしたり、ブラウニーは動物園に写生に行ったり、調べたい事柄がある時は公民館の2階の市立図書館に行ったり、環境の良い所は最大限に利用しております。

ブラウニーから入団し、リーダーの資格も取った人達が結婚、出産のために去っていかれる事は、大変残念な事です。リーダーの不足もなやみの一つです。父母会の皆様のご協力を是非おねがいします。

「素直な心を持った思いやりのある少女に育つ様に」、それが私共リーダーのはげみです。

# ☆☆☆委員会だより☆☆☆

## 指導者養成委員会

指導者研究協議会 南関東地区の部  
一清里で開催される

10月9日(金)~11日(日) 2泊3日

指導者の相互研修を充実させ、指導者の資質向上をはかることを目的として、全国7地区において開催される指導者研究協議会の南関東地区の部が、今年は山梨が担当県となり八ヶ岳少年自然の家で開催されます。

東京、千葉、神奈川、そして山梨と参加予定人数を上まわる110人のリーダー、及びトレーナー達が参加致します。美しい山々、緑の大草原、すがすがしい風、研修にぴったりの環境はもとより、充実した研修が行なわれるよう、準備に追われています。

研修内容は、大きく2つに分かれます。

1つは「明日の世界へのビジョン」

——今日のスカウト、明日のリーダー——  
をテーマに、講演、分科会、全体会と研修プログラムが展開されます。

2つ目は、「フィールドワーク、野外劇」

コース別に実習をする野外活動の研究です。  
色々な面で、リーダー達の情報交換も期待されます。

今年7才のブラウニーは、21世紀になる年には丁度20才、成人式を迎える年になっています。多分その時リーダーとして活躍してくれることでしょう。リーダーとして、社会人として、母親として、21世紀を支える中堅としての人づくりを真剣に考え、テーマに少しでも近づくことが出来ればと願っています。

実行委員長 星野 豊子

## ☆☆山梨県支部リーダースクラブ☆☆

初秋の一日を、櫛形山にて62年度一回目のリーダースクラブが開催されました。約25名のリーダー達、なごやかに集い、かつ、長沢先生の指導のもと伊奈ヶ湖周辺の植物の学習を熱心に行ないました。とてもすばらしい先生で豊富な知識の中で私達に植物への興味を深めさせて下さいました。又県民の森からの眺めのすばらしさは忘れられません。その上バーべキューのおいしかったこと、忙しさを忘れリフレッシュした一日でした。15団・13団のリーダーごくろう様でした。次回は1月塩山市放光寺にて精進料理の会です。ふるってご参加下さい。

## プログラム委員会

10月25日(日)、予定通り、ジュニアラリーを実施いたします。

今回は、塩山市にて史跡ウォッチングを計画しています。要項等は後日、各団に送付いたしますが、スケジュールに入れ、多数の参加者がありますよう御協力下さい。

プログラム委員会一同、よりたのしいラリーにしようと張り切っています。ご期待下さい。尚、今回は、広報委員会の一日スカウトデーも一緒に実施いたします。

## ☆☆ふれあいやまなしことぶき祭りに参加して☆☆

副支部長 三浦 美枝

9月15日(火)敬老の日に小瀬スポーツ公園に於て、県内のお年寄りが集まって、スポーツや、民謡、展示即売など、1日楽しく過ごしましょう…と、ふれあいやまなしことぶき祭りが開かれました。

暑い1日でしたが、ガールスカウト山梨県支部でも、1団、2団、4団、5団、9団、13団、14団のスカウト・リーダー85名が参加して、会場の案内と清掃のお手伝いをしました。

落ちていたのは、小さなゴミがほんの少し、さすが若い人達のお手本になるお年寄りの方達だな、と感心しました。参加したスカウトの皆さん、ご苦労さまでした。

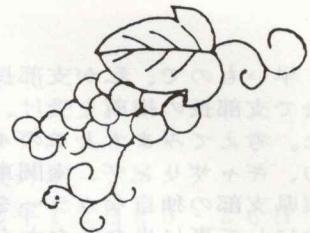
## 財務委員会

昨年度のブラウニーラリーの折作りました。ナップザック(ブルー)がまだたくさん残っています。価格600円です。秋のハイキングシーズンをむかえて、ぜひご利用下さい。

編 集 後 記

総会を終え新年度が発足してあつという間に前半期が過ぎてしまった感じです。その間支部及び各団では、それぞれ多彩な行事・活動があったわけですが、今回はスカウト達の参加感想文を主に作成してみました。いつもの事ですが、良いスナップ写真をのせられませんでした。皆様のお手持写真を広報委員会迄お寄せ下さるよう、ご協力お願ひいたします。今回お忙しい中寄稿して頂いた皆様に感謝申し上げます。

# 支 部 強 り



社団法人 ガール・スカウト日本連盟  
山梨県支部



S 62.12.25 B S · G S 合同スカウト展募金活動

スカウト運動の特徴は、ほほえみと善行である。今日世界で起こっているいろいろな紛争のたねは、みんなの間に、このほほえみと善行が足りなかつたために起こつてゐる…と言つてよいであらう。

—B・Pのことば—

# 退任によせて

支部長 箭 本 翠

早いもので、私が支部長に就任してもう4年が過ぎようとしております。4年前の支部総会で支部長の推薦を受け、ためらいつつも皆様の御協力のみを頼りとして、進んで参りました。考えてみますとこの4年間に随分沢山な行事がありました。10周年記念、国体への協力、ギャザリング、南関東ブロック研究協議会等、小さな支部には手に余る大きな仕事を山梨県支部の独自なカラーを出しつつ、立派に仕遂げたと思っております。これは皆が心を一つにして事に当たったからではないでしょうか。私達はガール・スカウトを愛し、ガール・スカウトの発展を願い、少女達の成長を喜びとしてがんばって来ました。時には泣き、時には興奮して議論をし、時には疲れ果て、投げ出したくなる事もあり、様々な時間が流れていきましたが、過ぎてみると、みな少女達の素晴らしい力を引き出す為に必要な事だったと思われます。そして私達成人もスカウトの一人として、少しずつでも成長して行ったのではないでしょうか。

シニア、レンジャーが、自分達で一つのプログラムを成し遂げた事、プラウニー、ジュニアが段々に活発になって行く様子を見ることは、非常に嬉しい事でした。大人と少女が一つの目的の為に力を合わせて進んで行く姿は、ガール・スカウトの特徴だと思います。これからも一生懸命やりましょう。

終わりに、家庭の事情により任期の最後になって皆様に多大な御迷惑をおかけした事をお詫びし、御協力に感謝します。私はスカウトとして、この後も約束とおきてを生涯の指針として生きる事を誓って、4年間のお礼の言葉といたします。

## 指導者研究協議会<南関東地区>本県にて開催

室内ファイアースタント



10月9～11日、八ヶ岳少年自然の家にて研究協議会が開催されました。南関東地区のリーダー・トレーナー112人が参加し、相互研修に励みながらリーダー間の友情の輪を広げました。野外に関する単元ですばらしいフィールドに恵まれた施設であった為、充実した研究成果が得られました。

野外劇研修コースの泣いた赤鬼

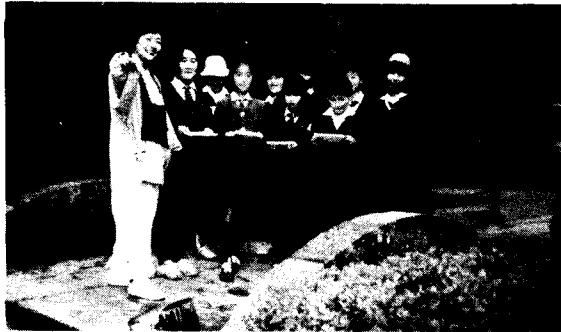
フィールドを使った野外劇の醍醐味を満喫し集会プログラムでの取り組みへの意欲がわきあがるようなコース研修でした。



フィールドワーク研修コースのススキのふくろう作り

今までのフィールドワークをもう一步深め、自然に目を向ける面で、自然にふれる活動を展開し、スカウト指導をする点での着眼点が深められた研修でした。

# 塩山史跡ウォッキング



楽しかったジュニアラリー

やさしそうな尼僧さんの説明にスカウト達も聞き入って？ リーダーの変身さすがですね。



こちら、まだどなた？

芭蕉の句碑の前で、スカウトも一句…  
古池や今も昔とおなじ音



放光寺  
山梨県内で4番  
目に古い鐘があり、不動明王など有名な仏様があります。

↑ 3コース

白ひげ神社

新羅三郎義光建立の  
神社で、天鉢女尊と猿田彦尊を  
祀っている社です。



1コース



2コース



高野家住宅

甘草屋敷ともいって、昔甘草を作っていた農家で、切妻造りの大きな家です。

↓

於曾屋敷  
豪族の館跡です。



1回 野 久 子

今年もあと300日余り……と云うと「まだ始まったばかりですよ」とおっしゃる方も多い事でしょう。このように時の流れに対する感覚は、人それぞれ異なったものをお持ちでしょうが、私達の年代にとっては時の流れ以上にその移り変わりの早さに驚きを感じております。

私達の子供の頃の遊びは、おはじき、お手玉、めんこ等でした。ところが今は、ファミコンゲーム、ほとんどの家庭でファミリーコンピューターなるものがあり、ゲームソフトを購入するために無断欠席をする子供も多いとか。私達の周りの少女達もこの中のひとりかも知れません……。

この様な時代に成長している彼女らに個性を見つけ出す事は実に難しい事と私は痛感しております。一人の指導者として接する時に私は、彼女等の生きる21世紀の事を考えます。きっと機械中心の社会となっているでしょう。その時に個性豊かな魅力ある人間はきっと、その社会で逞しく生きていける事でしょう。生活の全てが画一化され個性まで喪失している今日、私達の役目は大きな責任と期待を担っているのだと思います。

三本の柱を中心とした活動は、スカウティング、丁度ダイヤモンドの原石に磨きをかけて行く事と同じだと思います。唯スカウティングにおいて磨きをかけるのはスカウト自身です。そして私達リーダーは磨くための用具です。これから10年20年先、彼女達がキラリと光るダイヤモンドとなる様、私達大人も、もっと勉強を積み刺激を受けて、良き指導者となるよう頑張りましょう。そして昔を懐古するばかりではなく私達一人一人が現代社会、機械文明に適応し、前を向いて進む事が必要なものではないでしょうか。

# 合同スカウト展開催



華ばなしくテープカット  
スカウト展のオープニング

S 62年12月25・26日  
県民会館展示場

## ジュニアパトロールリーダー訓練会

### 12団 小林 真理子

私は、ジュニアパトロールリーダー訓練キャンプを、とってもたのしみにしていました。12月がすぎて1月の6日か7日ごろ、私は姉とこんな話をしました。「まだかな、もうすぐちやったのかな」としんぱいをしました。

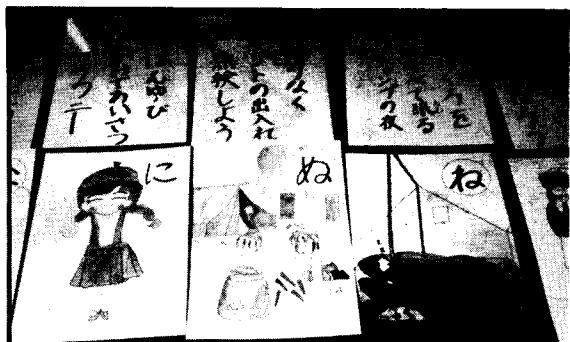
でも、パトロールリーダー訓練キャンプの通知をもらったとき、とってもうれしかったです。この訓練で一番ためになったことは、旗上げでした。私は旗上げをやりませんでいたが、見たり、リーダーの話を聞いたりしてとってもいい勉強になりました。次にたのしかった屋上でのゲーム、友達とぶつかったり、足をふんだり、「ごめんね」なんていったり、良い友達が出来ました。



—野外ゲーム—

### 15団 小林 暉

私はパトロール訓練に参加して県内の各団5年生スカウトが大勢集まっているのにおどろきました。クラフトの作成は大変な仕事でした。規律訓練は今までに団で習った事のない事が多く学べよい勉強になりました。天候が非常に寒くおなかが痛い人、かぜをひいてしまった人もいてなかなか夜眠ることができませんでしたが、パトロール訓練を通して多勢のお友達が出来ました。又団に戻ってからも文通しようと約束をして別れました。寒かったけど楽しい訓練キャンプでした。



—創作かるた—

## シニア・レンジャーの つどい



チリと  
アルゼンチンからの  
ゲストと共に開発教育

## シニア・レンジャーの集いに参加して

### 5団 飯野 美幸

私は今回初めてこの集いに出席しました。シニアではガールスカウトの“カルタ”製作をしました。どのパトロールも大変良く出来たと思います。私が一番楽しかったのは、パトロール作りです。今年も一人、仲の良い友達が出来ました。又三月の訓練キャンプに参加するのを楽しみにしています。パトロール対抗ゲームなどして、パトロールの仲良し作りを大切にていきたいと思います。

# 「国際交流と私」

ガールスカウト活動を通して

10団リーダー 嘉村知子

私は小学校2年生からスカウト活動を行っていますが、今回日タイ修好100年、タイ国王生誕60周年、即位40周年記念式典に参加の日本代表の一員としてタイ国を訪れて参りました。サワディーカ、ディチャンチュトモコカ、ナムサクン、カムラカ、インディーティーダイルーチャクカ。「今日は、私の名前は嘉村知子です。初めまして」、覚えてきたタイ語での自己紹介です。こんな簡単な言葉でも覚えておき現地で使うと親近感がもたれ、それからの交流をスムーズにしてくれると思いました。バンコクでは、非常にたくさんのがールガイド目にしました。特に国王式典の日は、あちこちにテントが張られ、多勢のスカウト達が交通整理等大変活躍していました。タイ国では、学校の課外授業として、ガールガイド、ボーイスカウト活動があるとのことです。タイ国は、微笑の国と言われますが、本当にあたたかく、明るい人達ばかりでした。ステイ先では、ホストの子以外は言葉が通じませんでしたが、それでももっと長くいてほしいと何度も言われ、素朴な温かさに大変尊いものを感じました。帰国後、私の家にエアーメールが届くようになりました。わずか二週間足らずの交流でしたが、その間、親切に接してくれたタイの友達からのものです。これからも私の大切な友達として、友情を深めていきたいと思っています。私のミニタイランドスナップ、おいしいタイ料理、猛スピードで飛びかかるサムロやオートバイ。たくさんの屋台、そして友人のいる国、常に笑みを絶やさない微笑の国……。



## 団紹介



—シンキングデーもちつき—

## 9団

私たちの9団は、冬の八ヶ岳風をまともに受ける県下でいちばん北に位置する韮崎にあります。今年度のプラウニーは12名、内一年生は1名という寂しさですが、少ないなりに皆まとまりが良く、11月～12月にかけては絵本と紙芝居を作りました。ジュニアは六年生11名、五年生2名、四年生4名の計17名が、ハンドブックを中心クラフトやゲームなどを出来るだけ楽しい雰囲気の中で各パトロールの協力性を生み出し、個々の自主性が身につくスカウトになれる様、頑張っています。そんな中

にあって、本年度いちばんのイベントは、親子で参加したクリスマス会でした。（フランス料理のテーブルマナー）普段にぎやかなスカウト達も、この時ばかりはレディーになりきっていました。シニア、レンジャーも人数は少ないので、9団の一員として頑張っております。

これからも楽しい集会をモットーに、他団との交流なども計画できたらと思ってます。同主旨の団、よろしかったらご連絡下さい。

# ☆☆☆委員会だより☆☆☆

## キャンプ委員会

昭和63年度は、シニア・レンジャー支部キャンプをガール・スカウトのあこがれの地、戸隠ガール・スカウトキャンプ場で開催致すにあたり、皆様のご協力を心よりお願ひ致し存じます。

歴史と神話の里、豊かな大自然、高原のすばらしい草花、鳥の声、戸隠高原の神秘的な中で多くを学び、経験していただきたく、支部役員、実行委員は計画致しております。

キャンプ生活による野外活動をすると共に戸隠の地を少しでも深く知って頂きたいのです。「戸隠を知る」事前学習をしていただくと共に、3月26日・27日の愛宕山少年自然の家で行われます野外研修に是非参加して8月の支部キャンプでは、すばらしい自然と歴史の里を目で、足で、確かめて頂きたいのです。

スカウトのために大人のご協力をお願ひ致します。

## 庶務委員会

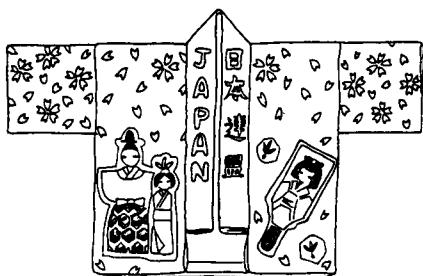
### ★需品部 新製品のお知らせ

はっぴてぬぐい<只今頒布中>

価格 320円 生地 綿 100%

◎図柄が一新されて再登場！

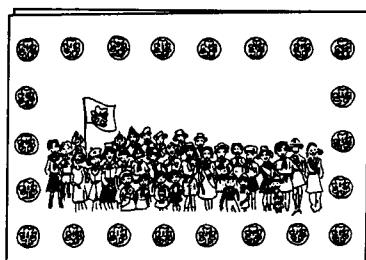
海外へのおみやげ、記念品に最適です。



### カラーノートカード(封筒付き)

価格 40円 限定数 8,000枚

◎久々の世界連盟需品です。書いて楽しいもんってうれしいカードです。クリスマスやシンキングデイに活用されてはいかがでしょうか。

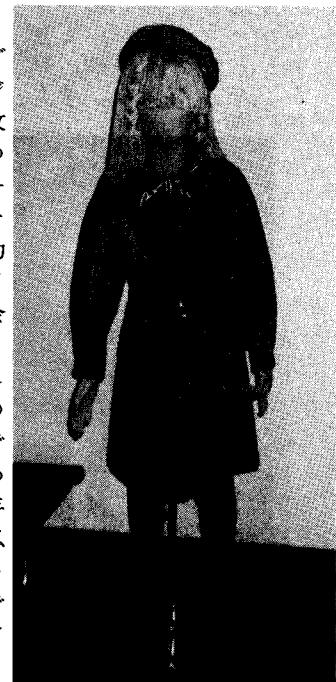


## プログラム委員会

シニア・レンジャーのふれあいの日実行委員会が発足されました。ふれあいの日実施に向けてよりスムーズに活動ができるよう支部全体の組織を作りました。実行委員長2団遠藤、副実行委員長1団浅川、10団岩村、会計3団雨宮、4団星野、書記15団幡野、1団名取、実行委員2団内藤、島津、5団中込、6団幡野、9団八重森、12団、13団宇野、15団天野、以上15名のメンバーを中心に活発なふれあいの日実施ができる事を期待します。

## 制服改正

昭和64年度よりプラウニーからレンジャーまでの制服が改正されます。全国のスカウト・リーダーからの意見や要望を取り入れ、より活動的な制服をめざし日本連盟の服装委員会が検討し写真のような制服に決定しました。昭和64~67年の3年間は移行期間で旧制服も着用が認められます。また63年度は準備期間とし私服に会員ピンのキャンプユニフォームでもよいことになっていきます。



## 編 集 後 記

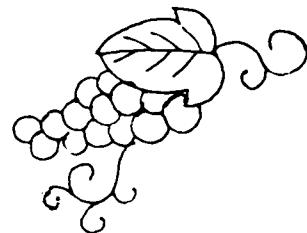
春のおとずれに心はづませながら、支部だよりNo.20をおとどけいたします。ご多忙のなか、快く原稿をお寄せ下さいました皆さんに心より感謝申し上げます。

より楽しく、親しみのある広報紙にと委員一同心がけました。より多くの方々に支部行事、活動など知っていただき、ご理解ご協力いただければと思います。

なお、私ごとで恐縮ですが、このたび任期を終ることになりました。ふつつかな私に、ご支援、ご協力頂きました皆さん、また委員の方々に厚くお礼申し上げます。

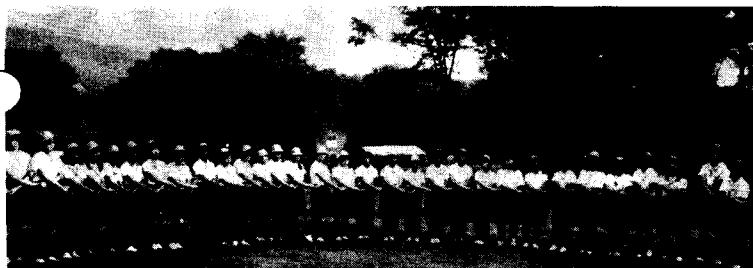
嘉村・記

# 支都祭り



社団法人 ガール・スカウト日本連盟

山梨県支部



S 63・8・6 戸隠キャンプ場

今ここに、山梨のスカウトは集う

希望にみちた8月の朝、かぐわしい木々のそよぎの中に、21世紀を近く迎え、  
永遠にかがやく、スカウトの真理を、私達は想い、目覚め、勇気を持ち、  
その実践につとめよう

今、私達はここに集う

朝つゆの中、小鳥の美しいさえずりをきき、心のみずみずしさを更に、自から深めて、スカウトの永遠の道を、たたえ、又慕い、青春の熱情と、冒險を強く、  
我が心に、ひびかせよう

今、私達山梨のスカウトは戸隠の森に集う

目をかがやかせ、頭を高く、常に情熱を失わず、  
スカウトの精神を守り、21世紀を創造する喜びと、ほこりと夢を、  
各自の信念として共に共に、実現しよう

—作詩・今井温子—

# 戸隠支部キャンプを終えて

キャンプ委員長 角井節子

8月6日より3泊4日の戸隠支部キャンプ実施に際し、多くの方々のご協力のもとに、無事終了出来ましたことを、まず初めにお礼申し上げます。

山梨県支部として、県外に出ての支部キャンプを開催することは初めての経験、自然に恵まれたキャンプ場がありながら、あえて大勢の労力と出費を費やして、長野県まで………とのご意見もあったことでしょう。しかし、全国のスカウトの憧れの地であるガールスカウト戸隠キャンプ場をスカウトに目で確かめ、経験していただきたく、計画、準備し実施致しましたところ、多くのシニア・レンジャーの参加がありました。今年は異常気象のため天候が定まらず、すばらしい星空も、キャンプファイヤーも経験出来ませんでした。でも戸隠の歴史深い地の民話、伝説、野尻湖の考古学に始まり文学にもふれることが出来たと思います。戸隠の自然のすばらしさと共に、スカウト、リーダーの胸に、こもごもの感想がこの夏の想い出のページにきざみこまれたことでしょう。

キャンプ実施にあたり、研修、訓練をしたつもりでしたがまだまだ、訓練不足を感じたりは、私ばかりではなかったと思います。スカウト活動は日頃の集会を大切にして、自己の研鑽の場としていただきたく、支部キャンプを終えての感想です。又戸隠で学んだことを今後の自分に役立てていただけたら幸いです。



資材担当 大塚慶子

雨に見舞われた戸隠キャンプ！一番の心配は撤営でした。「借りたときよりきれいに返す」と言う基本の作業も、雨のために浸水し、泥がついてしまったテント、ひとつとっても大変な事、そのうえ今にも降りそうな空模様と時計を気にしながらの作業は、緊張の連続でした。しかし、これらはどこのキャンプでもおなじことです。「キャンプは、スカウト活動の実践の場」と言われますが、自分の力を充分出しきれたでしょうか。

地区長 小野加代

キャンプは、日常のスカウティングの実践の場として最適な活動です。団の集会で、パトロールシステムをとりにくい実情にあるシニア・レンジャーにとって、戸隠キャンプはまさにパトロールシステムの実践の場であったと思います。日頃の集会の積み重ねがいかに大切かを実感した4日間でした。

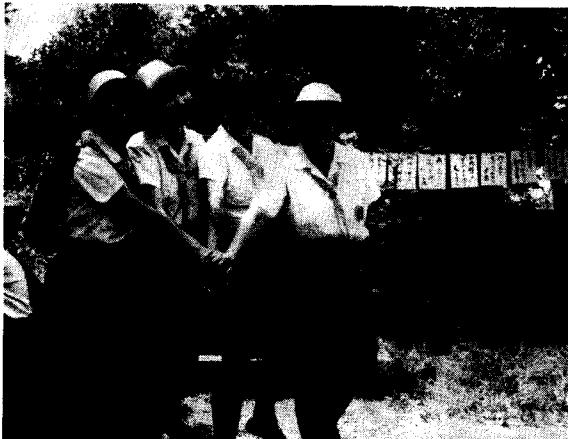
B-Pが、キャンプは発見の場であるとおっしゃっていますが、それぞれのスカウトが自分なりに何かを感じ、発見してくれたことを期待しています。



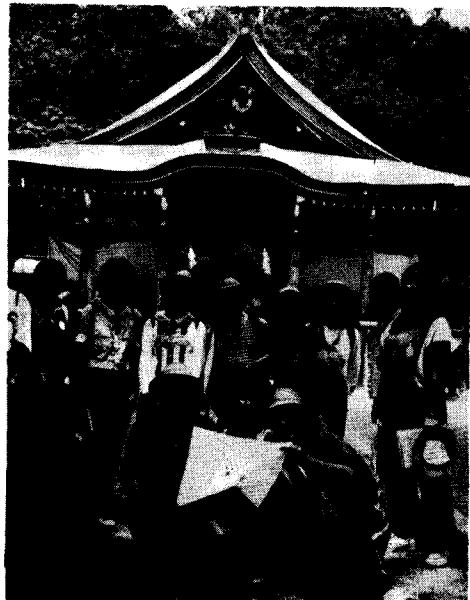
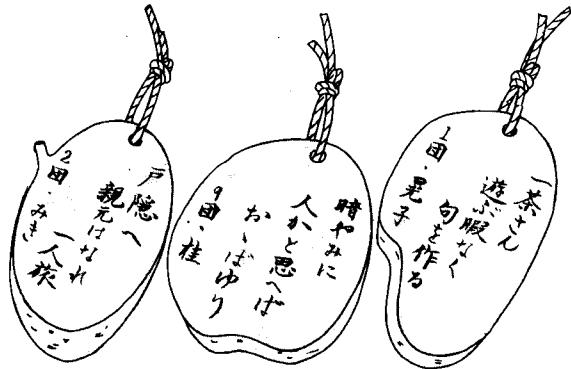
地区つきリーダー 3団 田中好美

正直な気持ちを書くと、戸隠キャンプはとても不安でした。けれど、行ってみると、戸隠の大自然、神秘さにとても感激しました。またプログラムのうち野尻湖博物館、一茶記念館、中社、奥社、これらは戸隠を知る(cating togakushi)為にも、とても充実したものであったと感じました。それから、撤営の日、私は自然をもとに返すというむづかしさを知りました。

最後に、「戸隠、もう一度行きたい、キャンプとおそば」



一茶堂で俳句の健闘を誓い合うリーダー達



### 9団レンジャー 八重森祐子

振り返ると、あっという間の4日でしたが日々、とても充実したキャンプでした。

たくさんの厳しさと、美しい緑の大地の中で、いろいろな事を学びました。又、手にかかえきれないほどの友情とも出あいました。日程が充実している分、生活の面では苦労が重なり、リーダー方も迷惑ばかりかけてしまいました。

ただひとつ残念だったのが、美しく光る星空の下で、キャンプファイヤーがおこなえなかったことです。素敵な夜の想い出を作れたと思います。今年の夏の最高の想い出となりました。



支部長さん、副支部長さんのスタンツ。さすがに見事な出来映えです。

### 4団シニア 山 見 理 恵

待ちに待った戸隠キャンプ。みどりの山、みどりが広がる大地を思いっきり走りまわってみたい!!角しばりも、じやばらも好きではなかった私に、戸隠の自然が優しく教えてくれました。

キャンプ場で困ったことは、雨がたくさん降ったことです。とても厳しいキャンプだったが、自分なりに成長したと思う。そのあかしに今まで出来なかつたテント張りも出来た。私はリーダー以上にパトロールリーダーにすごく感心した。私もそんなパトロールリーダーになり戸隠に又行きたい。

# 〔海外派遣〕 =イギリスを訪ねて=

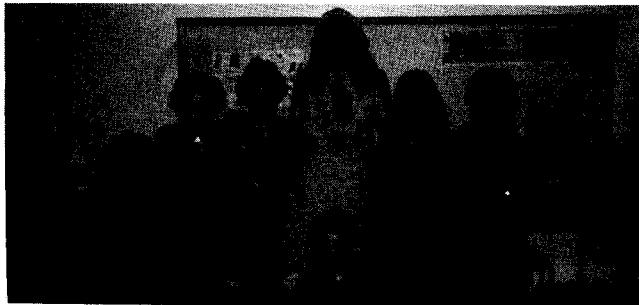
## 行ってみなきゃ、わからない!! 海外派遣を終えて…

### 2 団 竹 中 結

『帰りたくないよう!!…ロンドンのヒースロー空港で、14人の日本人は声をそろえてこのように叫んでいた。しかし、帰らなくては…。何故なら、彼女らは『ガールスカウト』であるからだ。イギリスで過した21日間のうちに、どれ程の収穫を得たかを報告しなければならない義務がある。

初めて見るワールド・センター『オレヴ・ハウス』には、日本人のアドバイザーがいて、各部屋ごとに決められた世界各国の展示を説明してくれたっけ。10日間もの長い期間に全く予定表のないキャンプ生活、何をするにも個人行動だったアクティビティー。自由で個人の人権、意志を尊重する外国でなきゃ出来ないことよね。マナーや言語の違う国でも積極的に行動せざるを得なかったから、思いっきり自分を表現できたよね。

30カ国、約7,000人が参加したキャンプを終え、ホームステイを終え、少女たちは日本に帰ってきた。そう、そのうちの1人は、この山梨に……。



## アングリア'88に参加して

### 10 団 地 場 洋 恵

私はこの夏、イギリスでのキャンプ『アングリア'88』に参加し、本当に大きな経験をすることができました。イギリスは、ガールスカウト、ガールガイド発祥の地なので、ガールスカウト活動の原点と視野を広げることができるのでないかと思い、参加しました。

キャンプは、世界中から25カ国の人々が集って行われました。まず感じるのは、キャンプ形式が日本とまるで異なることです。食事は全てガイナーが用意してくれます。そして毎日がウインドサーフィン、スキー、ローラースケート、博物館見学など楽しいプログラムばかりでした。又、私達のキャンプサイドに2人障害者がいました。日本では、何かと手をかけようと思いますが、イギリスでは本当に必要な時しか手をかしません。だから全く違和感などありませんでした。本当にすばらしく日本も多いに見習うべきだと思いました。

私はこのキャンプに参加して、言葉の違いはあっても本当に心は通じるものだと、改めて実感しました。みんなとても親切で、もう二度と会えない人もいるかと思うと涙があふれて止まりませんでした。私にこんな大きな体験をさせてくれた方々に、心から感謝したいと思います。この喜び、経験をこれから活動にいかし、がんばっていこうと思います。



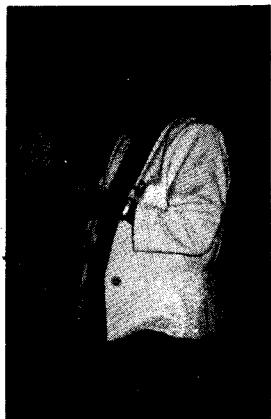
# ひととき

佐藤秀子

この夏のキャンプのことです。新しいリーダーも一挙に6名増え旧リーダー共々やる気に満ちて、団キャンプに臨んだのですが、キャンプ中スカウトが“やけど”をしてしまいました。その時の処理等万全を期したつもりでしたけれど、何気ない父母やリーダー達の一言が意外に事をこじらせてしました。リーダーは当然のことながら、もうリーダー活動はできないと悩みました。私達がリーダー活動をやめたらこの団はつぶれると解っていても事故で体験したいやな思いは、とても明日からスカウティングを行こうという気にはさせませんでした。そして毎晩遅くまで事故に対して多くの人々と話し合い、その結果、今リーダー活動を私達がやめたら……今のような人間関係が他で得られるだろうか、ただの茶飲み友達やショッピング友達はたくさんいるけれど、多くのことを学びながら、悩みながら、苦労しながら深められていく人間関係は、リーダー活動の中以外そう多く作れるものではない。新しいリーダー達ともその輪を広げ深めていけそうでもある。この関係はやはり断ち切れないという結論でした。そしてキャンプから2ヶ月経った現在、又張切ってスカウティングをして行くことに決め、楽しい人間関係の中で目を輝やかせています。そんな仲間でもいい時ばかりではありませんけれど、人間関係の中にしっかりした目的と日々の充実感があれば、こんな危機も乗り切れるものだと、スカウティングに感謝し張切っている毎日です。

## 県リーダースクラブ開催(座禅会)

9月8日(日)都留市宝鏡寺にて座禅会と法話の集いを開催しました。あいにく、あまり良い天気ではありませんでしたが、佐藤リーダーの御主人でもある泰道方丈様に指導していただき、白がゆをすすり緊張した中にも気持ちのよい時が持てました。法話も、身近な為になるお話しでもっと多くのリーダーが参加したら良かったのになると参加リーダーが残念がっていました。



## 団紹介



## 15団

私達15団は、県東部地域の中心で人口わずか三万五千人の大月市に生まれ満4歳になろうとしています。当初26名の発団でしたが、お陰様で今日では71名の団員になり多くの方々のお力添えで少しづつ皆様の仲間入りが出来るよう頑張っています。今夏は、シニアスカウトは全員、支部戸隠キャンプに参加、ジュニア、プラウニースカウトは、初めて団独自の合同キャンプを八ヶ岳のふもと清里で行ないました。お互に素晴らしい経験をし、大変心に残った夏休みだったと思います。キャンプの体験が

これからスカウト活動面にプラスになるのではないかと信じています。まだまだ15団は、技術面、活動面では他の団に劣っていますが、大月市民憲章にもうたってあります「自然を愛し、心豊かな人づくり思いやりの輪を広げ、美しい町づくりに」、少しでもお手伝い出来るよう、つねに小さな心に、お友達と共に喜びあえたり、涙を流す事が出来る少女にと念じて居るこの頃です。

# ☆☆☆委員会だより☆☆☆

## 組織委員会

9月14日（水）甲府市東部市民センターにおいて、アダルト成人会員研修会が開催されました。今井支部長の御主人でもある今井友之助氏を講師に、日頃の御経験を山とワインと題し話していただきました。深い体験からの話しでとても意義深いものでした。その後VTRを視聴し、県下各団より55名の参加者にとって充実した半日でした。

## 指導者養成委員会

今年度は、2回の野外活動コースを実施し16名のキャンプリーダーが誕生しました。また、8月22・23日の養成講習会では、4名の新リーダーが誕生しました。

何か学んだ後は、心がとてもフレッシュです。このフレッシュさを持続させて、リーダー活動に励んでほしいものです。

11月13日（日）には、リーダー研修会を計画しています。今からスケジュール調整をされて、よりよいスカウティングの為に自己開発して欲しいと思います。

## プログラム委員会

第2期ふれあいの日、実行委員が決定しました。今期は名取あやや実行委員長を中心に、ふれあいの日を実施していくわけですが、10月より毎月各団でふれあいアクションを実施していくことになっています。実行委員より呼びかけがありましたら、万難を排して御協力下さい。

### ●新実行委員

委員長 名取あや（1団） 副委員長 八重森祐子（9団） 三浦亜由美（6団） 書記遠藤光恵（2団） 塙田昭美（12団） 会計山見理恵（4団） 委員 山本みどり（1団） 奥脇直子（3団） 小林ふみ子（5団） 大江京子（10団） 風間美江（13団） 幡野佳子（15団）

## 地区リーダースクラブ報告

郡内地区では、(5.6.9.11.1.3月)の年6回担番制で実施しています。9月16日（金）、富士山荘特別養護老人ホームを訪ねました。テーマは、老人ホームにおいて私達にできるお手伝いを考える。ホームの先生より概要をうかがう中で清掃や食事介助のボランティアもありがたいが老人が一番喜ぶのは小さな子供の訪問ですとのこと。老令化社会の進む中考えさせられる事が多かったわけですが、スカウトにもこのようなホームを訪問させる意義も大きいと思い、各団でプログラムの中にそれぞれの工夫で盛り込んで行こうと話し合いました。



寮母との語り合い。

特別養護老人ホーム富士山荘

国中地区では、隔月に団持ち廻りで開催しています。最近では焼だんご作り、ゲーム、ソングなどを行ないました。

### 編 集 後 記

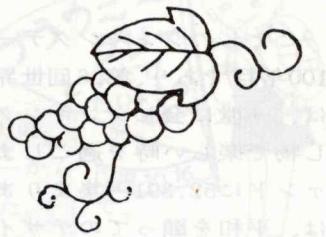
今回は広報担当して初めての支部だより発行、より多くの皆様に楽しく親しんでいただけた支部便りを作ろうと、取り組んでみました。

No.21号は、支部シニア、レンジャー戸隠キャンプの写真をたくさん使い、特集してみましたが、如何でしたでしょうか。

色々の体験は、きっと良い思い出として残ったことでしょう。

次回は3月発行予定です。各団活動の楽しい行事等ありましたら、原稿、写真をお送り下さい。お待ちしています。

# 支部祭り



社団法人 ガール・スカウト日本連盟

山梨県支部



S 63.10.16 ブラウニーラリー泉郷にて

美と幸福の輝きに満ちた世界は、我々が楽しむためにある。

悲しみや苦痛は、真の幸福は何であるかを教え、幸福が訪れたときにその有難さを教えてくれる対象にすぎないのである。

—B・Pのことば—

# 1989年のシンキング・デー

国際委員長 山田 幸子

ことしのシンキングデーは、ワールドチーフガイド・オレブレディベーデン・ポウエルの生誕100年目であり、第26回世界会議では、世界平和推進の日とされています。そこで本県支部では、一堂に会しシンキングデーの催しを行いました。ビデオ「モモ」を見たり、各団からの出し物で楽しい時を過ごしました。ワールドチーフガイド基金に86,700円、シンキングデーファンドに52,391円集まりました。早速日本連盟へ送金しましたので、報告します。織シールは、平和を願ってのデザインとしましたので、バッグにつけたりTシャツの袖につけたり活用してください。支部では10枚入り500円で扱っていますのでご利用ください。

—— グローバルは思考と身近な行動を ——

スカウトの皆さん、平和について考えたことがありますか。あなたは、日本がまだ40年前には戦争をしていたことを信じますか。広島や長崎に原爆がおちたことを知っていますか。あなた方のご両親や祖父母の方などからお話を聞いてください。ガールスカウトは、すべての人々の友だちであり、互いに姉妹であります。世界のいろいろな人たちが、戦時下であったり、飢餓や貧困に直面していたり、家が無かったり、災害にあったりしていることを、いつも考えてみてください。私たちに何ができるのでしょうか。私は「平和」とは、相手に自分との違いを認め共存していくことだと考えています。世界にはいろんな人種の人が住んでいます。私たち日本の社会にもいろいろな考え方の人が住んでいます。みんな同じくこの地球上に生を受けた人間です。身近な人とも無論仲良く、また地球上の人のことも考えながら生きていく。そんな姿勢が大切なのではないでしょうか。（リーダーの友№103, №122参照）



## リーダースクラブ講習会報告

中山 歌江

ガールスカウト日本連盟教育主事の松下俱子先生をお迎えいたして、1月22日、岡島ローヤル会館に於て「ガールスカウト活動に於ける諸問題」と題して、先生が歩んでこられた活動を通してのお話しを伺うことが出来ました。出席会員38名でした。

「全体が○なら我慢しよう」との座右の言葉は一同に深い印象と感銘を与えました。「現在のガールスカウトの課題」について多くの示唆を得ました。身近に受け止められる有意義なお話しでした。

昼食も和やかな歓談の中に済ませ、各部門毎に別れ、各自の持っている問題点、悩みごと等を話し合い、その様子を発表し合いました。大変盛り上がりましたが時間がなく、充分に討議する事も出来ませんでした。この様な会を持つ事を要望されました。

1団・14団の役員、リーダーの皆様ご苦労様でした。



## 9団ブラウニー 大久保 幸

去年の10月、大泉村で山梨県全体のブラウニーが集まってブラウニーラリーがおこなわれました。歌をうたったりゲームをしたりしました。一番楽しかったのは、きいろいろふくろをさがしてその中の紙を読んで、もんだいに答えるものです。みんな考えたり、話し合ってときました。そして前に進んでいくゲームです。12時ごろになったのでおべんとうを三分湧水でたべました。水が流れている所が3つに分かれています。これは武田信玄が3つの村に同じように水が流れていくようにするために考えたそうです。食べてからまだ歩きました。ゴールについてからじゅんいを聞きました。終わりの式でまるくなっているいろいろしました。そしてパトロールリーダーがほかの団のリーダーから首かざりとアメをもらい、みんなでわけました。楽しかったのでまた行きたいです。



17団ブラウニー

川村美穂

ブラウニー  
ラリー  
とびだせ  
たいようの  
もとへ

188.10.16.



ウォークラリーをした時、

パトロールリーダーから

地図をもらいました。そして、

ラリーがはじまりどんどん歩いて行くと迷子になりそうになっ

たけれども、地図を見たのでわかりました。また歩いて行くと、黄色いふくろがあって、その中を見たらいろいろなことが書いてあつたので、いっしょにけんめいさがしました。けいとをさがすところでけいとをさがさないで、さきに行ってしまい、ほかの団の人にいわれて、もどりました。けいとは、ぜんぶで7本ぐらいありました。それがあつていたのでお菓子をくれました。ゴールのところでそのお菓子をたべました。つかれていたので、とてもおいしくかんじました。はじめて、ウォークラリーをしたので、とてもおもしろかったです。またこんどもやってみたいです。



(三分一湧水)

ひ と と き

今井温子



最近私は仏教で説く「自利利他」の言を識った。平易に云うと他の人を利(幸)を希い、共に又、己の利(幸)を想うとの意であると思う。ベーデンポウエル卿の「幸福になるには、その第一に他の人の幸を考えなさい」と同じ思想であり、感激にその日は終始した。平成の初めにこの言を知った事も幸、四月新年度を迎える機に於ても非常な喜びと悟しであった。

二月国際月にガールスカウト全員による「平和」を考える行動がそれぞれ取られるが、その催しの大小に関わりなく平和の意義の深さを相互に再認識する心を育て、それが永続する実践につながることに努め、努めてもいただきたい。各自かたくかたく手をつなぎ、この運動の為に次代の為に前進しましょう。

## 「パトロールリーダーと私

15団ジュニア 三木 環奈

私は、プラウニーの時からいつも上級生が参加するのを見て「私も早く5年生になりたい」と思っていた。待ちに待った訓練だったが、泊まり訓練でなかった事が、とても残念だった。

何よりもうれしかった事は、友達がたくさんできた事。初めは、おたがいに不安だったがみんなとすぐに仲良くなれた。私達のパトロールは「若草」という名前を付けて私がパトロールリーダーをした。若草のように今から活動したいと思ってこの名前を付けた。午後からは「おきて」について話し合い、私達は「友情」をテーマにして話し合いをした。

「友情」の言葉をあらためて見直し、胸があつくなり、スカウト自身が進めていく、パトロールシステムの大切さがよくわかった。私も今年の春から6年生になる自信を持って、パトロールリーダーが出来る様にもっともっと自分をみがきたいと思う。ガールスカウトは、自分の意見をはっきりと人前で発表し行動出来る場所だ。私は、スカウトをしていて本当に良かったと感動した。



## 団紹介



ほしい所です。やがてお昼になりお弁当をいただき終わるとラリーの出発です。先ずは公園内にある「水の神」「赤い靴の女の子」の像をチェックしながら「開港資料館」や世界中の像が集められている「横浜人形の家」「外人墓地」等もあります、この墓にはボイスカウト日本連盟創設者の物もありました。それらをチェックしながらやがてラリーの終点になると「ブルーライン2階建てバス」が待ち受けてくれました。私達13団はバスに乗り帰りに向かうでしたが、どれを取っても、きちんと組まれた時間、そつのないリーダーとスカウトの行動には感激しました。異国情緒の雰囲気をたっぷり味わい、実り多い1日を私達のためにお作り下さった神奈川53団の皆様に感謝します。

## ジュニアパトロール リーダー訓練に参加して

2団ジュニア 遠藤麻衣

わたしは、1月15日にジュニアパトロール訓練に行ってきました。グループが作ってあって、わたしはこれを見てびっくりしました。2団の人とは、だれともいっしょじゃなくて、みんなバラバラでした。ちょっと心配しました。でも、自己紹介をしてからすぐお友達になれました。そして、パトロールシステムについて勉強しました。パトロール章は「りすパトロール」です。どうしてかというと「りすのようすればやく行動する」ということできめました。みんなでお弁当を食べたり、ゲームをしたりしてとても楽しかったです。パトロールリーダーは、みんなをまとめて明るく楽しいパトロールにしなくてはいけないと思います。これからもがんばっていきたいと思いました。

ジュニアパトロールリーダー訓練は、ほかの団の人とも友達になれとても楽しかったです。

## 13回

今年度、私達13団は、神奈川53団との横浜ウォークラリーを計画しました。しおり作りから始まり、ラリーのコース、私達13団のための乗り物の「場所」「時間」「資料集め」等すべて53団のレンジャーがして下さいました。すばらしい手作りのしおり、さすがレンジャーとばかり手にしながら、開会式と新しい友とのパトロール分をすませ、遊覧船マリーン・シャトルに乗り、海上の散歩をかね、一路山下公園へ一直線。青い海、青い空、その中の白い船山に囲まれている私達は、船に乗る事に胸おどる気分、スカウト達も感激の様子、やがて山下公園に着きました。そこには日本のガールスカウトとアメリカのガールスカウトの友好の像がありました。私達はこの場所にある事を初めて知りました。ぜひ山梨のスカウト達にも一度は見学して

ほしい所です。やがてお昼になりお弁当をいただき終わるとラリーの出発です。先ずは公園内にある「水の神」「赤い靴の女の子」の像をチェックしながら「開港資料館」や世界中の像が集められている「横浜人形の家」「外人墓地」等もあります、この墓にはボイスカウト日本連盟創設者の物もありました。それらをチェックしながらやがてラリーの終点になると「ブルーライン2階建てバス」が待ち受けてくれました。私達13団はバスに乗り帰りに向かうでしたが、どれを取っても、きちんと組まれた時間、そつのないリーダーとスカウトの行動には感激しました。異国情緒の雰囲気をたっぷり味わい、実り多い1日を私達のためにお作り下さった神奈川53団の皆様に感謝します。

いはいはい

SCOUTING

# 車いすスラローム



仲間に入ろうかな…



さあ出発!  
湖一周



焼いもにしたら何人分?

## 昭和63年度第1回ふれあいの日

### 実行委員長 名取あや

8月のシニア、レンジャーの集いで、ふれあいの日実行委員長になり、「ふれあいの日スポーツ大会」を発案しました。ただ、自分たちで楽しみたいと思っていただけだったのですが、知らないうちに大きな行事となり、私の肩に重くのしかかってきたのです。

月に一度、委員達が集まってスポーツ大会の計画立案をしました。しかし、全て初めてのこと、戸惑い、つまずき、思うように進みませんでした。委員会活動もスムーズではありませんでしたが、12月に入って案が固まり、ボーイスカウトへも招待状を出しました。リーダーや委員の協力でなんとか本番を迎えるました。参加人数の少なさと、私の到らなさで多少の不満は残りましたが、無事に終らせることができ、ほっと胸をなでおろし、次回への夢をふくらませています。

### 6団シニア 宮下明子

先日小瀬スポーツ公園で、ガールスカウトとボーイスカウトの交流会がありました。内容は、スポーツ大会で、バレー、バドミントン、ドッヂボールを行いました。ボーイスカウトの参加は少なかったけど、赤・白2つのグループに別れてスポーツを楽しみました。行動が遅かったり、グループがすぐに決められなかったりしたけれども、今回のふれあいの日でボーイスカウトの人達と交流が深められたと思います。私はスポーツが不得意ですが、今回のレクレーションは、そんなことを気にせず楽しめました。今度は、ボーイスカウトではなく他の団体と交流会を開き、ガールスカウトをたくさんの人々に知ってもらいたいと思いました。



# ☆☆☆委員会だより☆☆☆

## 組織委員会

2月28日、アダルト研修会が甲府市あづま太陽の家で実施されました。あづま太陽の家は、身体障害者の授産施設です。前回のアダルト研修会でこの施設を訪れ、所長の井出たけ子先生より、すばらしい講話を伺い、この学習を生かそうと第2回目は、ボランティア活動を実践すべく太陽の家におじゃまし、入所生と交歓しながら、清掃奉仕等を実施しました。平日ということで参加者は少なかったものの有意義な会で、アダルト活動としてのこれからを考えさせられた一日でした。

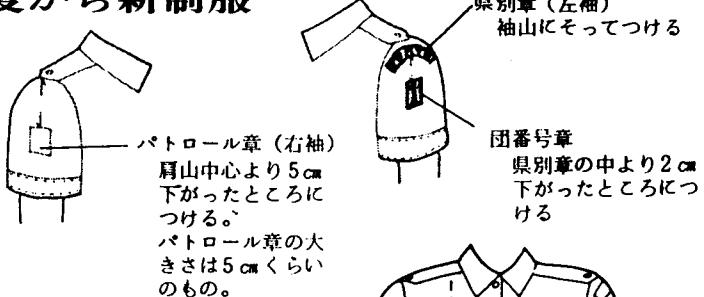
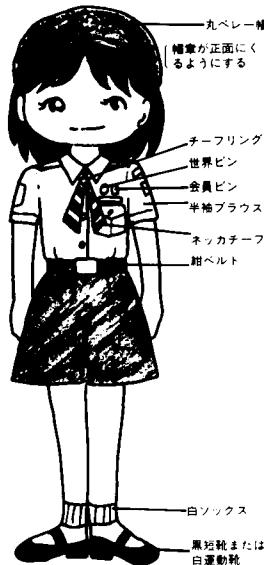
## 受賞おめでとう!!

信玄公宝物保存会の行った、表彰で第2回レンジヤースカウトの遠藤晴美さんが、日頃のスカウト活動が認められ、受賞しました。日頃積極的にスカウティングを行ない、他のスカウトの模範となっていると、すばらしいおほめの言葉を頂きました。これからもすばらしいスカウティングを行なってくれると思います。

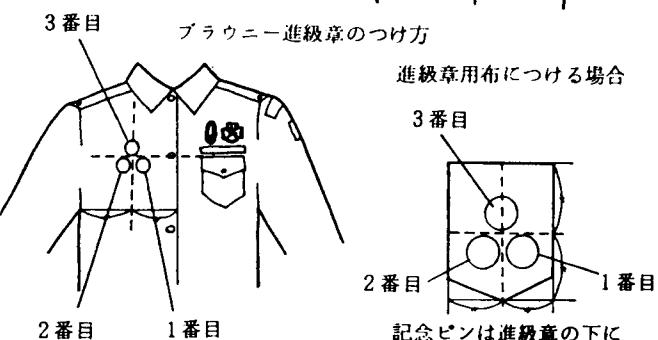
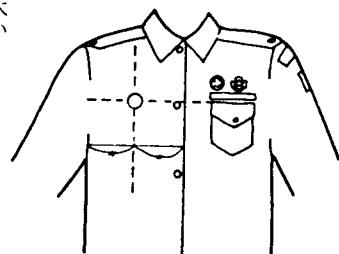
## 新年度から新制服

平成元年4月1日から、新制服を着用することになります。今回は特に各章のつけ方を紹介します。

詳しくは「服装規定」をご覧下さい。



記念ピンは右胸に、  
ポケットフタと同じ高さに決められた期間つける



## 編集後記

今年度もあと数日で終わろうとしていますが、この一年間の活動はいかがでしたか。ここに支部だよりNo.22をお届けします。これから活動に役立てて頂ければ幸いです。編集にご協力下さいました皆様、ありがとうございました。

